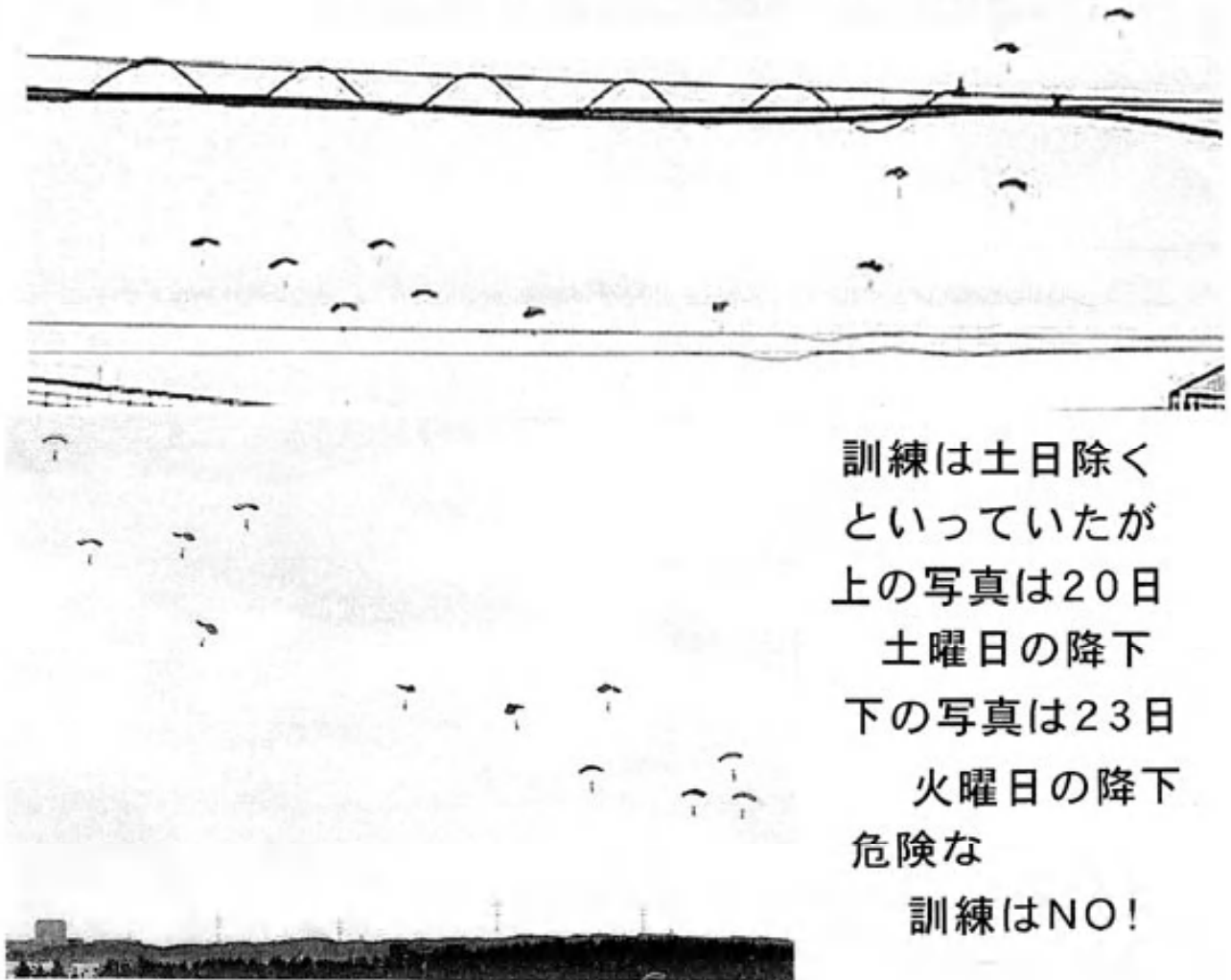


世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.6.25 NO.383 東京・羽村平和委員会発行



6月17日～26日 800人のパラシュート降下訓練 米軍通告



訓練は土日除く
といていたが
上の写真は20日
土曜日の降下
下の写真は23日
火曜日の降下
危険な
訓練はNO!

6月21日第135回横田座り込み 89人参加 時間短縮で実施



、6月16日午後5時ごろCVオスプレイ部品落下わかる
 激しい訓練の中 部品落下
 土曜日も飛行

月曜日は以下の訓練も

ロープを使って 5~6人降下
 約5メートルの高さから



約30メートルの高さから降下



ホイスト用の担架をつり上げ

約25
 メートル
 の高さ
 から



CVオスプレイ

はアメリカに帰れ!

オスプレイ部品落下

米軍横田基地配備では初

重さ453グラム
 ライトの覆い
 在日米軍横田基地

(福生市など東京都多摩地区)配備の米空軍特殊作戦機CV22オスプレイが飛行中に部品を落下させていたことが18日、わかりました。これまで横田基地配備の米空軍C130輸送機などが頻繁に部品落下やパラシュート

誤投下事故を起こしていますが、オスプレイの部品落下事故は初めてです。防衛省北関東防衛局が17日に周辺自治体に提供した情報によると、落下したのはサーチライトのドーム(覆い)で、大きさ約15・8センチ×約15・8センチ×約10センチ、重さ約453グラム。16日午後5時ごろ、飛行後の点検で判明。落下場所は不明としています。

CV22は2019年4月に横田基地に初飛行、10月に正式配備されました。関東周辺や三沢(青森県)、岩国(山口県)両基地と横

田基地の間での低空飛行、東富士演習場(静岡県)での離着陸、横田基地内でのホバリング(空中停止)や市街地上空での低空での旋回など、連日訓練を実施。部品落下事故は、住民の命や財産への被害につながる危険があります。